

大 監 第 1 2 号
令和6年8月26日

大台町長 大 森 正 信 様

大台町監査委員 野呂 茂生

大台町監査委員 岸 良隆

令和5年度大台町水道事業会計決算審査について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、令和5年度大台町水道事業会計決算及び関係書類、その他法令で定める書類について審査をしたので、その結果について次のとおり意見書を提出する。

審査の意見及び概要

別添、令和5年度大台町水道事業会計決算意見書のとおり

令和5年度

大台町水道事業会計決算審査意見書

大台町監査委員

令和6年8月

目 次

第 1	審査の対象	4
第 2	審査の方法	4
第 3	審査の結果	4
第 4	審査の概要	4
1	業務実績について	5
2	予算の執行状況について	7
(1)	収益的収入	7
(2)	収益的支出	7
(3)	資本的収入	7
(4)	資本的支出	8
3	経営状況について	9
(1)	経営成績	9
(2)	経営内容	10
ア	給水原価	10
イ	施設利用率	10
ウ	料金回収率	10
エ	起債の状況	11
	むすび	11

令和5年度 大台町水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

令和5年度大台町水道事業会計決算

第2 審査の方法

審査にあたっては、大台町水道事業会計決算書、決算附属書類が、地方公営企業法、その他関係法令に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうか、経営の基本原則に従って運営されているかについて審査を行った。

第3 審査の結果

審査に付された決算書及び決算附属書類は、関係法令に基づいて作成され、その他の関係諸帳簿の記載金額といずれも符合し、計数は正確であり、かつ事業の経営成績及び財政状態をおおむね適正に表示しているものと認められた。

第4 審査の概要

審査の概要は次のとおりである。

水 道 事 業 会 計

1 業務実績について

(1) 令和5年度の主な業務実績は、次のとおりである。

(業務実績)

項目	単位	令和5年度	令和4年度	比較	
				対前年度比較	増減率(%)
年 度 末 給 水 人 口	人	8,265	8,449	△ 184	△ 2.2
年 度 末 給 水 戸 数	戸	3,992	4,018	△ 26	△ 0.6
年 間 配 水 量	m ³	1,415,572	1,418,491	△ 2,919	△ 0.2
1 日 最 大 配 水 量	m ³	4,474	4,907	△ 433	△ 8.8
1 日 平 均 配 水 量	m ³	3,868	3,886	△ 18	△ 0.5
有 収 水 量	m ³	1,019,491	1,069,644	△ 50,153	△ 4.7
1 日 平 均 有 収 水 量	m ³	2,785	2,930	△ 145	△ 4.9
有 収 率	%	72.02	75.41	△ 3.39	△ 4.5

※注 有収率は、年間配水量に対する年間有収水量の割合

ア 給水人口・給水戸数

給水人口は、8,265人で、前年度に比べ184人の減少、給水戸数は、3,992戸で、前年度に比べ26戸減少している。

イ 年間配水量

年間配水量は、1,415,572 m³で、前年度に比べ、2,919 m³減少している。

ウ 1日最大配水量・1日平均配水量

1日最大配水量は4,474 m³で、前年度に比べ433 m³減少、1日平均配水量は3,868 m³で、前年度に比べ18 m³減少している。

エ 有収水量・有収率

年間有収水量は1,019,491 m³で、前年度に比べ50,153 m³減少している。有収率は、72.02%で、前年度の75.41%に比べ3.39ポイント減少している。

(2) 主な建設改良事業

(単位：円：消費税込)

工 事 名	工 事 費	主 な 内 容	着工年月日	竣工年月日
日進川添・三瀬谷連絡管詳細設計 及び申請書類作成業務委託	4,950,000	連絡管詳細設計業務 N=1.0式 申請書類作成業務 N=1.0式	令和 5年 5月 2日	令和 6年 2月28日
日進川添・三瀬谷連絡管布設工事 第2工区	51,236,900	連絡管布設 HPPE φ150 L=677.2m	令和 5年10月 4日	令和 6年 3月 4日
町道東道2号線配水管布設替工事	8,584,400	配水管布設 HPPE φ75 L=167.45m 各戸給水 N=2.0戸	令和 5年 7月 3日	令和 5年10月 2日
長ヶ地内配水管布設替工事 第8工区	20,595,300	配水管布設替 HPPE φ75 L=354.31m 消火栓 N=2.0基 各戸給水 N=6.0戸	令和 5年 7月 3日	令和 5年10月 2日
県道大台ヶ原線(桧原地内)配水管布設 工事	12,413,500	配水管布設替 HPPE φ150 L=130.88m	令和 5年 9月 4日	令和 5年12月 4日
町道千代柳原線配水管布設替工事	5,470,300	配水管布設替 HPPE φ75 L=107.51m 消火栓 N=1.0基 各戸給水 N=3.0戸	令和 5年11月 6日	令和 6年 2月 5日

2 予算の執行状況について

(1) 収益的収入

(単位：円：消費税込)

区分	令和5年度		比較 (B)-(A)	4年度決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第1款 水道事業収益	438,349,000	438,253,721	△ 95,279	439,379,594	100.0	△ 0.3	100.0
第1項 営業収益	199,715,000	197,973,072	△ 1,741,928	205,905,158	99.1	△ 3.9	45.2
第2項 営業外収益	238,634,000	240,280,649	1,646,649	233,474,436	100.7	2.9	54.8

収益的収入については、予算額4億3,834万9,000円に対し、決算額は4億3,825万3,721円で執行率は100.0%であった。

(2) 収益的支出

(単位：円：消費税込)

区分	令和5年度		比較 (A)-(B)	4年度決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第2款 水道事業費用	480,378,000	473,385,448	6,992,552	477,528,548	98.5	△ 0.9	100.0
第1項 営業費用	444,375,000	438,539,683	5,835,317	440,733,021	98.7	△ 0.5	92.6
第2項 営業外費用	34,853,000	34,714,095	138,905	36,752,759	99.6	△ 5.5	7.3
第3項 特別損失	150,000	131,670	18,330	42,768	87.8	207.9	0.0
第4項 予備費	1,000,000	0	1,000,000	0	0.0	#DIV/0!	0.0

収益的支出については、予算額4億8,037万8,000円に対し、決算額は4億7,338万5,448円で執行率は98.5%であった。

(3) 資本的収入

(単位：円：消費税込)

区分	令和5年度		比較 (B)-(A)	令和4年度 決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第1款 資本的収入	327,539,000	320,114,000	△ 7,425,000	309,792,000	97.7	3.3	100.0
第2項 企業債	98,600,000	89,200,000	△ 9,400,000	80,400,000	90.5	10.9	27.9
第3項 出資金	215,716,000	214,850,000	△ 866,000	216,085,000	99.6	△ 0.6	67.1
第4項 他会計負担金	2,494,000	2,494,000	0	2,578,000	100.0	△ 3.3	0.8
第6項 補助金	10,729,000	13,570,000	2,841,000	10,729,000	126.5	皆増	4.2

資本的収入については、予算額3億2,753万9,000円で、決算額は3億2,011万4,000円で、企業債借入金、一般会計出資金、一般会計負担金、国庫補助金によるものである。

(4) 資本的支出

(単位：円：消費税込)

区分	令和5年度		比較 (B)-(A)	令和4年度 決算額 (C)	執行率 (B)/(A)	増減率 (B)-(C)/(C)	構成比率
	予算額(A)	決算額(B)					
第1款 資本的支出	474,628,000	463,338,896	11,289,104	453,433,810	97.6	2.2	100.0
第1項 建設改良費	118,144,000	107,856,989	10,287,011	96,608,084	91.3	11.6	23.3
第2項 企業債償還金	352,984,000	352,981,907	2,093	354,325,726	100.0	△ 0.4	76.2
第3項 基金積立金	2,500,000	2,500,000	0	2,500,000	100.0	0.0	0.5
第4項 予備費	1,000,000	0	1,000,000	0	0.0	0.0	0.0

資本的支出については、予算額4億7,462万8,000円に対し、決算額4億6,333万8,896円で執行率は97.6%である。

資本的収支において生じた不足額、1億4,322万4,896円は、当該年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額833万8,432円及び当該年度分損益勘定留保資金1億3,488万6,464円にて補てんしている。

3 経営状況について

(1) 経営成績

事業収入は、4 億 1,840 万 4,706 円である。

主な内容は、営業収益の給水収益（水道使用料）が 1 億 7,717 万 5,200 円、営業外収益の一般会計からの補助金 1 億 4,006 万 8,000 円（企業債利息、人件費、減価償却費に要する経費に充当）、長期前受金戻入 9,815 万 206 円である。

収益的支出は、4 億 6,204 万 1,627 円である。

主な内容は、南勢水道からの受水等の原水及び浄水費が 7,982 万 1,058 円、修繕費等の配水及び給水費が 2,284 万 6,845 円、人件費等の総係費が 4,494 万 5,222 円、減価償却費が 2 億 7,820 万 2,648 円、支払利息及び企業債取扱諸費が 3,325 万 3,732 円であり、収支差引額 4,363 万 6,921 円が当年度純損失となった。

(事業収入)

事 項	令和 5 年度	令和 4 年度	(単位：円：消費税抜)	
			比 較	
			増 減	比 率 (%)
1. 水道事業収益	418,404,706	420,552,381	△ 2,147,675	99.49
(1) 営業収益	179,987,174	187,215,788	△ 7,228,614	96.14
1. 給水収益	177,175,200	184,715,280	△ 7,540,080	95.92
2. 受託工事収益	68,320	100,319	△ 31,999	68.10
3. その他営業収益	2,743,654	2,400,189	343,465	114.31
(2) 営業外収益	238,417,532	233,336,593	5,080,939	102.18
1. 受取利子及び配当金	781	997	△ 216	78.34
2. 他会計補助金	140,068,000	134,078,000	5,990,000	104.47
3. 長期前受金戻入	98,150,206	99,142,443	△ 992,237	99.00
4. 雑収益	198,545	115,153	83,392	172.42

(事業費)

事 項	令和 5 年度	令和 4 年度	(単位：円：消費税抜)	
			比 較	
			増 減	比 率 (%)
1. 水道事業費用	462,041,627	466,394,709	△ 4,353,082	99.07
(1) 営業費用	427,195,862	429,599,182	△ 2,403,320	99.44
1. 原水及び浄水費	79,821,058	70,857,295	8,963,763	112.65
2. 配水及び給水費	22,846,845	31,668,250	△ 8,821,405	72.14
3. 総係費	44,945,222	40,145,121	4,800,101	111.96
4. 減価償却費	278,202,648	286,190,448	△ 7,987,800	97.21
5. 資産減耗費	1,380,089	738,068	642,021	186.99
6. その他営業費用	0	0	0	—
(2) 営業外費用	34,714,095	36,752,759	△ 2,038,664	94.45
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	33,253,732	35,543,032	△ 2,289,300	93.56
2. 雑支出	1,460,363	1,209,727	250,636	—
(3) 特別損失	131,670	42,768	88,902	307.87
1. 過年度損益修正損	131,670	42,768	88,902	307.87
(4) 予備費	0	0	0	—
1. 予備費	0	0	0	—

次に、水道事業にあつては、独立採算制を建前として経営されているが、経常収支比率を見ると 90.58%と前年度に比べて 0.4 ポイント上がっているが、100%以上が望ましく、類似団体と比べても大きく下回り、赤字経営を示している。

区 分	算 式	令和 5 年度	令和 4 年度	類似団体
経常収支比率 (%)	経常収益／経常費用×100	90.58	90.18	104.82

(2) 経営内容

ア 給水原価

給水原価は、経常費用から受託工事収益等を控除したものを年間総有収水量で除したものであるが、356.74 円で前年度に比べて上がっており、類似団体と比べると約 1.5 倍となっている。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	類似団体
給水原価（1 m ³ 当たりの原価）円	356.74	343.10	230.85

イ 施設利用率

施設利用率は、68.46%となっている。概ね効率的な施設利用がなされていると思われる。また、類似団体に比べても高い数値となっている。

区 分	算 式	令和 5 年度	令和 4 年度	類似団体
施設利用率 (%)	1日平均配水量／1日配水能力×100	68.46	68.78	50.10

ウ 料金回収率

料金回収率は、48.72%と 100%を大きく下回っており、給水にかかる費用が水道料金収入で賄われていない状態である。また、類似団体と比べても大きく下回っている。

区 分	算 式	令和 5 年度	令和 4 年度	類似団体
料金回収率 (%)	供給単価／給水原価×100	48.72	50.32	82.30

エ 起債の状況

新たな起債の発行は、8,920 万円である。残高は 30 億 3,411 万 7,370 円となっており、令和 5 年度まで継続していた起債償還のピーク期間が終了し、今後の償還については、少しずつ減少する見込みである。

単位：千円、%

区 分	令和4年度末	令和5年度中 増減額		令和5年度末	増減額	増減率
		発行額	償還額			
1 水 道 事 業 会 計	3,297,899	89,200	352,982	3,034,117	△ 263,782	△ 8.0
過 疎 対 策 事 業 債	829,755	9,300	203,923	635,132	△ 194,623	△ 23.5
辺 地 対 策 事 業 債	9,649	10,600	1,802	18,447	8,798	91.2
簡 易 水 道 事 業 債	2,282,963	0	146,356	2,136,607	△ 146,356	△ 6.4
水 道 事 業 債	171,932	69,300	901	240,331	68,399	39.8
公 営 企 業 施 設 等 整 理 債	3,600	0	0	3,600	0	0.0
合 計	3,297,899	89,200	352,982	3,034,117	△ 263,782	△ 8.0

む す び

業務実績は、給水人口が 8,265 人で前年度に比べ 184 人減少し、給水戸数は 3,992 戸で前年度に比べ 26 戸減少している。今後も給水戸数は減少の傾向にある。

配水量については、1,415,572 m³で前年度に比べ、2,919 m³減少しており、有収水量は、1,019,491 m³で、前年度に比べ 50,153 m³減少している。有収率は 72.02%と前年度に比べて 3.39 ポイント減少している。引き続き、有収率の向上に向けて努められたい。

経営状況は、総収益 4 億 1,840 万 4,706 円に対し、総費用 4 億 6,204 万 1,627 円で、4,363 万 6,921 円が当該年度純損失となった。経営状況については、人口減少や漏水などによる有収水量の減少傾向から、料金収入の増収が期待できないことなどから欠損金は増加することが予想される。加えて、施設の更新や管路の耐震化など取り組む課題も多く厳しい経営状況にあると考えられる。

水道料金は、平成 27 年 4 月 1 日に改正されてから見直しがされておらず、一般会計からの基準外繰入により収入不足を補填している状況であるので、水道料金の見直しを行うなど、効率的、効果的な運営に取り組まれない。